



公益財団法人 日本ハンドボール協会 編
令和2年1月1日発行(毎月1回1日発行) 通巻598号

ハンドボール

1

JAN.2020
No.598



- 第24回女子世界選手権(熊本大会)
- 第3回全日本マスターズシニア大会



挑戦を続けた日々が、大舞台へと届くように。
諦めない気持ちと、熱い感動を、世界中へ届けるために。

ヤマト運輸はジャパンハンドボールオフィシャルパートナーです。



ヤマトホールディングスは、
東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーとして、
東京2020オリンピック競技大会を応援しています。



東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー
ヤマト運輸はヤマトホールディングスのグループ会社です



プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム



メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始!

☎ 0557-51-7887 (担当 土屋・はば)

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズや、社有物件も展開! 待望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202

TEL : 03-3525-8986 / FAX : 03-5295-8188 <http://yurika-co.jp/>





あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

Eat Well, Live Well.

Aji
AJINOMOTO.

Behind Your "Best"



車いすバスケットボール
鳥海 連志 選手

バドミントン
松友 美佐紀 選手

競泳
瀬戸 大也 選手

バドミントン
高橋 礼華 選手

ハンドボール
原 希美 選手
ハンドボール
永田 しおり 選手
ハンドボール
横嶋 彩 選手

空手
喜友名 諒 選手

5人制サッカー
加藤 健人 選手
5人制サッカー
黒田 智成 選手

パラ水泳
一ノ瀬 メイ 選手
パラ水泳
木村 敬一 選手
パラ水泳
山田 拓朗 選手

©The Asahi Shimbun via Getty Images
©Atsushi Tomura/Getty Images for Tokyo 2020
©Junya Nishigawa - PARAPHOTO/Getty Images
©Ian MacNicol/Getty Images ©JBFA ©X-1

**味の素(株)は「勝ち飯®」メニューを選手に提供することで、
東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表選手団を応援しています。**

＼ がんばる人のチカラになるごはん！

勝ち飯®

オリンピック・パラリンピック日本代表選手団が、世界で勝つために。

味の素(株)は、独自の栄養プログラム「勝ち飯®」メニューで、
彼らのカラダづくりを支えています。



東京2020オフィシャルパートナー
(調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品)



【表紙の写真】
第24回女子世界選手権

CONTENTS

07 年頭にあたり

—(公財)日本ハンドボール協会会長・湧永寛仁

08 第24回女子世界選手権

09 「おりひめ」JAPAN メンバーリスト

10 開会式

11 予選ラウンド結果、メインラウンド結果、最終結果

13 戦評:〈予選ラウンド〉アルゼンチン戦

14 戦評:〈予選ラウンド〉コンゴ戦

15 戦評:〈予選ラウンド〉スウェーデン戦

16 戦評:〈予選ラウンド〉ロシア戦

17 戦評:〈予選ラウンド〉中国戦

18 戦評:〈メインラウンド〉モンテネグロ戦

19 戦評:〈メインラウンド〉スペイン戦

20 戦評:〈メインラウンド〉ルーマニア戦

21 女子世界選手権を振り返って—監督・Ulrik Kirkely

23 女子世界選手権を振り返って—キャプテン・永田しおり

24 オールスターチーム

令和元年度第3回全日本マスターズハンドボールシニア大会

26 大会を終えて—マスターズ専門委員会・小山哲央

27 試合結果

28 フォトギャラリー

29 2020東京オリンピック出場枠12カ国(女子)

30 IHFニュース

がんばれハンドボール 20万人会「サポート会員」11月入会・継続会員

【埼玉】恩田 勉、恩田道代、齋藤和也、芦界信也、芦界芳江【東京】宮本達矢、多 久智、寺嶋 潔、佐藤俊男、佐藤映子
【神奈川】福井俊彦【福井】田 晴美【愛知】筒井理絵、濱嶋美香、新井こずえ、加藤恵美子、稲本 等、新美良旭

次号 2月号 (No. 599) は 2月 1日 発行 予定です。

なんだか、家族が楽しい、1日です。

次はいつ行く?
ゆめタウン

知らなかった「かわいい」や「おいしい」に出会える1日。家族ってまるで探検隊だ。

株式会社イズミ 検索 <https://www.izumi.co.jp>
 本社 〒732-8555 広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211 (代)

年頭にあたり



公益財団法人 日本ハンドボール協会 会長

湧永 寛仁

常日頃より当協会の事業運営に対して深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、全国のハンドボール愛好者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

先月に熊本で開催された女子世界選手権では、皆さまのご声援の下、24ヶ国参加となった1993年以降、最高の成績を収めることができました。篤いご声援をいただきました皆様をはじめ、開催決定から閉会まで献身的なご尽力をいただきました熊本県をはじめとする運営スタッフの皆さまに改めて厚く御礼申し上げます。この大会で女子日本代表・おりひめジャパンは、銀メダルを獲得したスペインと試合終盤まで競り合い、銅メダルに輝いたロシアとは前半互角に渡り合い、古豪ルーマニアには快勝するなど、着実にチーム力が向上し、ヨーロッパ勢との距離が縮まっていることを実感しております。

一方、男子・彗星 JAPAN は昨年6月に開催した日韓定期戦では韓国に快勝、着実に強化の成果を挙げており、今年1月のアジア選手権（クウェート）に臨みます。今年はいよいよ2020東京オリンピックを迎えます。昨年東京で開催いたしました国際試合や世界選手権、アジア選手権といった国際大会の経験を存分に発揮し、皆さまに立派な成績報告ができるよう、さらに強化に取り組んで参りますので、引き続きご支援、ご声援の程お願い申し上げます。

さて、次世代に目を向けますと、U-22は昨年7月に香港で行われたアジア選手権で、男子、女子ともに優勝、最終戦で敗れて準優勝に終わった昨年の雪辱を果たしました。7月には男子U-21がスペインで開催された世界選手権で17位、8月に北マケドニアで開催されたU-19世界選手権ではクロアチアと7mスローコンテストまでもつれ込む激戦を制して9位に輝きました。女子はアジア選手権に臨み、7月にU-20が準優勝、8月にU-18が3位となり、今年の世界選手権の出場権を獲得しています。次世代の選手たちが国際大会でさらなる経験を積み、将来の日本代表チームの柱となってくれるものと大いに期待しています。

また、毎年年初には味の素ナショナルトレーニングセンターでNTSセンタートレーニングを行っております。一昨年からターゲットエイジの拡大をはかり、U-13も対象として開催しております。全国から選ばれた子供たちが将来の日本代表を目指してトレーニングに励んでいます。世界の舞台での活躍を夢見る子供たちに希望を与え、実現させることが我々の使命と考え、今年の2020東京オリンピック、さらにその先につながる育成、強化活動も進めて参ります。

今年の東京オリンピックでの日本代表選手の活躍とメダル獲得という目標に向けて、さらなる覚悟をもって全力で取り組んで参ります。全国のハンドボール愛好者の皆様、本年も引き続きのご支援、ご声援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



第24回女子世界選手権

開催期間：2019年11月30日～12月15日

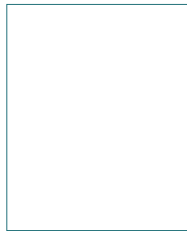
開催地：熊本県・熊本市、八代市、山鹿市

会場：パークドーム熊本、アクアドームくまもと、熊本県立総合体育館、
八代市総合体育館（八代トヨオカ地建アリーナ）、山鹿市総合体育館

オランダが初優勝
日本は10位



女子日本代表 『おりひめ JAPAN』



団長
田口 隆
(公財)日本ハンドボール協会



監督
Ulrik Kirkely
(公財)日本ハンドボール協会



コーチ
榎田 亮介
(公財)日本ハンドボール協会



GKコーチ
Antoni Parecki
(公財)日本ハンドボール協会



ドクター
井本 光次郎
(公財)日本ハンドボール協会
熊本赤十字病院



トレーナー
高野内 俊也
(公財)日本ハンドボール協会
(一財)日本予防医学協会



トレーナー
岩谷 美菜子
(公財)日本ハンドボール協会



分析
嘉数 陽介
(公財)日本ハンドボール協会



アナリスト
田口 真夕
(公財)日本ハンドボール協会
東海大学



通訳
藤田 愛
(公財)日本ハンドボール協会



1 GK
飛田 季実子
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
大阪福島女子高校出



2 PV
永田 美香
北國銀行
四天王寺高校出



3 PV
角南 果帆
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
大阪体育大学出



4 RB
角南 唯
Nykøbing Falster (DEN)
大阪体育大学出



5 LB
塩田 沙代
北國銀行
高松商業高校出



6 CB
石井 優花
オムロン
東京女子体育大学出



7 RW
藤田 明日香
Borussia Dortmund (GER)
四天王寺高校出



11 PV
堀川 真奈
イズミメイプルレッズ
大阪教育大学出



12 GK
板野 陽
イズミメイプルレッズ
大阪教育大学出



13 LW
勝連 智恵
オムロン
宣真高校出



15 RB
多田 仁美
三重バイオレットアイリス
日本体育大学出



16 GK
宮川 裕美
オムロン
青森中央高校出



18 LW
田邊 夕貴
北國銀行
大阪体育大学出



20 RW
秋山 なつみ
北國銀行
大阪体育大学出



21 RW
池原 綾香
Nykøbing Falster (DEN)
日本体育大学出



25 CB
大山 真奈
北國銀行
大阪体育大学出



27 LB
佐々木 春乃
北國銀行
大阪体育大学出



28 RB
永田 しおり
オムロン
福岡女子商業高校出



30 GK
亀谷 さくら
Nykøbing Falster (DEN)
NTG High School出



36 RB
中山 佳穂
大阪体育大学
夙川学院高校出



41 LW
河田 知美
北國銀行
大阪体育大学出



81 CB
石立 真悠子
三重バイオレットアイリス
筑波大学出

開 会 式

2019年11月30日、メイン会場となるパルクドーム熊本にて開会式が挙行された。

会場には、開会式後に行われる日本 vs アルゼンチン戦を観戦のファンも交えてほぼ満員の盛況となった。式典は、オープニング演奏として、大太鼓一人打ちで世界一と認められたメンバーを中心に活動する和太鼓集団「和太鼓 道心」、オープニング映像のあとはダンスパフォーマンスとして熊本を拠点に日本及び世界で活動する「ナニコレ?劇団」とバトンチーム「メリーホッパーズ」のパフォーマンスが披露された。

大会テーマソングは、「熊本少年少女合唱団」の澄みきった歌声、「熊本県内高校選抜吹奏楽団」の演奏、「尚綱高校和装礼法部」が華やかな着物を装い参加 24 カ国を紹介した。

その後、開会式は IHF 旗・トロフィーの入場があり、宝塚歌劇団の熊本県人吉市出身である轟悠氏の日本国歌独唱へと続いた。その後、開催地代表挨拶として、熊本県知事蒲島郁夫氏から、開会宣言が IHF ジョエル デルブランク第一副会長により高らかに宣言があり大会の幕が切られた。



予選ラウンド

各グループ上位3チームがメインラウンド（2次リーグ）に進出

【Group A】

| 順位 | NED | NOR | SRB | ANG | SLO | CUB | 数 MP | 勝 W | 分 T | 敗 L | 総得点 GF | 総失点 GA | 得失点差 Diff | 勝点 Pts |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|--------|--------|-----------|--------|
| 1. オランダ (NED) | | 30○28 | 36○23 | 35○28 | 26●32 | 51○23 | 5 | 4 | 0 | 1 | 178 | 134 | 44 | 8 |
| 2. ノルウェー (NOR) | 28●30 | | 28○25 | 30○24 | 36○20 | 47○16 | 5 | 4 | 0 | 1 | 169 | 115 | 54 | 8 |
| 3. セルビア (SRB) | 23●36 | 25●28 | | 32○25 | 29○27 | 46○27 | 5 | 3 | 0 | 2 | 155 | 143 | 12 | 6 |
| 4. アンゴラ (ANG) | 28●35 | 24●30 | 25●32 | | 33○24 | 40○30 | 5 | 2 | 0 | 3 | 150 | 151 | -1 | 4 |
| 5. スロベニア (SLO) | 32○26 | 20●36 | 27●29 | 24●33 | | 39○26 | 5 | 2 | 0 | 3 | 142 | 150 | -8 | 4 |
| 6. キューバ (CUB) | 23●51 | 16●47 | 27●46 | 30●40 | 26●39 | | 5 | 0 | 0 | 5 | 122 | 223 | -101 | 0 |

【Group B】

| 順位 | KOR | GER | DEN | FRA | BRA | AUS | 数 MP | 勝 W | 分 T | 敗 L | 総得点 GF | 総失点 GA | 得失点差 Diff | 勝点 Pts |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|--------|--------|-----------|--------|
| 1. 韓国 (KOR) | | 27△27 | 26△26 | 29○27 | 33○27 | 34○17 | 5 | 3 | 2 | 0 | 149 | 124 | 25 | 8 |
| 2. ドイツ (GER) | 27△27 | | 26○25 | 25●27 | 30○24 | 34○8 | 5 | 3 | 1 | 1 | 142 | 111 | 31 | 7 |
| 3. デンマーク (DEN) | 26△26 | 25●26 | | 20○18 | 24○18 | 37○12 | 5 | 3 | 1 | 1 | 132 | 100 | 32 | 7 |
| 4. フランス (FRA) | 27●29 | 27○25 | 18●20 | | 19△19 | 46○7 | 5 | 2 | 1 | 2 | 137 | 100 | 37 | 5 |
| 5. ブラジル (BRA) | 27●33 | 24●30 | 18●24 | 19△19 | | 31○9 | 5 | 1 | 1 | 3 | 119 | 115 | 4 | 3 |
| 6. オーストラリア (AUS) | 17●34 | 8●34 | 12●37 | 7●46 | 9●31 | | 5 | 0 | 0 | 5 | 53 | 182 | -129 | 0 |

【Group C】

| 順位 | ESP | MNE | ROU | HUN | SEN | KAZ | 数 MP | 勝 W | 分 T | 敗 L | 総得点 GF | 総失点 GA | 得失点差 Diff | 勝点 Pts |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|--------|--------|-----------|--------|
| 1. スペイン (ESP) | | 27○26 | 31○16 | 29○25 | 29○20 | 43○16 | 5 | 5 | 0 | 0 | 159 | 103 | 56 | 10 |
| 2. モンテネグロ (MNE) | 26●27 | | 27○26 | 25○24 | 29○25 | 30○21 | 5 | 4 | 0 | 1 | 137 | 123 | 14 | 8 |
| 3. ルーマニア (ROU) | 16●31 | 26●27 | | 28○27 | 29○24 | 22○20 | 5 | 3 | 0 | 2 | 121 | 129 | -8 | 6 |
| 4. ハンガリー (HUN) | 25●29 | 24●25 | 27●28 | | 30○20 | 39○15 | 5 | 2 | 0 | 3 | 145 | 117 | 28 | 4 |
| 5. セネガル (SEN) | 20●29 | 25●29 | 24●29 | 20●30 | | 30○20 | 5 | 1 | 0 | 4 | 119 | 137 | -18 | 2 |
| 6. カザフスタン (KAZ) | 16●43 | 21●30 | 20●22 | 15●39 | 20●30 | | 5 | 0 | 0 | 5 | 92 | 164 | -72 | 0 |

【Group D】

| 順位 | RUS | SWE | JPN | ARG | COD | CHN | 数 MP | 勝 W | 分 T | 敗 L | 総得点 GF | 総失点 GA | 得失点差 Diff | 勝点 Pts |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|--------|--------|-----------|--------|
| 1. ロシア (RUS) | | 30○22 | 33○23 | 35○22 | 34○13 | 26○11 | 5 | 5 | 0 | 0 | 158 | 91 | 67 | 10 |
| 2. スウェーデン (SWE) | 22●30 | | 34○26 | 30○23 | 26○16 | 32○19 | 5 | 4 | 0 | 1 | 144 | 114 | 30 | 8 |
| 3. 日本 (JPN) | 23●33 | 26●34 | | 24○20 | 28○16 | 35○18 | 5 | 3 | 0 | 2 | 136 | 121 | 15 | 6 |
| 4. アルゼンチン (ARG) | 22●35 | 23●30 | 20●24 | | 25○16 | 34○28 | 5 | 2 | 0 | 3 | 124 | 133 | -9 | 4 |
| 5. DR コンゴ (COD) | 13●34 | 16●26 | 16●28 | 16●25 | | 25○24 | 5 | 1 | 0 | 4 | 86 | 137 | -51 | 2 |
| 6. 中国 (CHN) | 11●26 | 19●32 | 18●35 | 28●34 | 24●25 | | 5 | 0 | 0 | 5 | 100 | 152 | -52 | 0 |

多彩なフィールドで、フロンティアを目指しています。

大同特殊鋼の素材は、暮らしや産業を支える多彩な製品や部品に使われています。
私たちはこれからも、素材の力で新たな価値創造に貢献していきます。

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special



外からは見えませんが、骨のある会社です。



メインラウンド

【Group I】

| 順位 | NOR | NED | SRB | GER | DEN | KOR | 数 MP | 勝 W | 分 T | 敗 L | 総得点 GF | 総失点 GA | 得失点差 Diff | 勝点 Pts |
|----|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|--------|--------|-----------|-----------|--------------|-----------|
| 1. | ノルウェー (NOR) | 28●30 | 28○25 | 32○29 | 22○19 | 36○25 | 5 | 4 | 0 | 1 | 146 | 128 | 18 | 8 |
| 2. | オランダ (NED) | 30○28 | 36○23 | 23●25 | 24●27 | 40○33 | 5 | 3 | 0 | 2 | 153 | 136 | 17 | 6 |
| 3. | セルビア (SRB) | 25●28 | 23●36 | 29○28 | 26△26 | 36○33 | 5 | 2 | 1 | 2 | 139 | 151 | -12 | 5 |
| 4. | ドイツ (GER) | 29●32 | 25○23 | 28●29 | 26○25 | 27△27 | 5 | 2 | 1 | 2 | 135 | 136 | -1 | 5 |
| 5. | デンマーク (DEN) | 19●22 | 27○24 | 26△26 | 25●26 | 26△26 | 5 | 1 | 2 | 2 | 123 | 124 | -1 | 4 |
| 6. | 韓国 (KOR) | 25●36 | 33●40 | 33●36 | 27△27 | 26△26 | 5 | 0 | 2 | 3 | 144 | 165 | -21 | 2 |

【Group II】

| 順位 | RUS | ESP | MNE | SWE | JPN | ROU | 数 MP | 勝 W | 分 T | 敗 L | 総得点 GF | 総失点 GA | 得失点差 Diff | 勝点 Pts |
|----|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|--------|--------|-----------|-----------|--------------|-----------|
| 1. | ロシア (RUS) | 36○26 | 35○28 | 30○22 | 33○23 | 27○18 | 5 | 5 | 0 | 0 | 161 | 117 | 44 | 10 |
| 2. | スペイン (ESP) | 26●36 | 27○26 | 28△28 | 33○31 | 31○16 | 5 | 3 | 1 | 1 | 145 | 137 | 8 | 7 |
| 3. | モンテネグロ (MNE) | 28●35 | 26●27 | 26○23 | 30○26 | 27○26 | 5 | 3 | 0 | 2 | 137 | 137 | 0 | 6 |
| 4. | スウェーデン (SWE) | 22●30 | 28△28 | 23●26 | 34○26 | 34○22 | 5 | 2 | 1 | 2 | 141 | 132 | 9 | 5 |
| 5. | 日本 (JPN) | 23●33 | 31●33 | 26●30 | 26●34 | 37○20 | 5 | 1 | 0 | 4 | 143 | 150 | -7 | 2 |
| 6. | ルーマニア (ROU) | 18●27 | 16●31 | 26●27 | 22●34 | 20●37 | 5 | 0 | 0 | 5 | 102 | 156 | -54 | 0 |

順位決定戦


| | | | | | |
|---------------|-------|--------|------------------|----|------|
| 2019/12/13(金) | 5位決定戦 | モンテネグロ | 28 (13-12、15-14) | 26 | セルビア |
| | 7位決定戦 | スウェーデン | 35 (18-13、17-11) | 24 | ドイツ |

準決勝・決勝

| | | | | | |
|---------------|-------|------|------------------|----|-------|
| 2019/12/13(金) | 準決勝 | オランダ | 33 (16-16、17-16) | 32 | ロシア |
| | 準決勝 | スペイン | 28 (13-13、15-9) | 22 | ノルウェー |
| 2019/12/15(日) | 3位決定戦 | ロシア | 33 (18-15、15-13) | 28 | ノルウェー |
| | 決勝戦 | オランダ | 30 (16-13、14-16) | 29 | スペイン |

最終順位

優勝：オランダ 2位：スペイン 3位：ロシア 4位：ノルウェー 5位：モンテネグロ
 6位：セルビア 7位：スウェーデン 8位：ドイツ 9位：デンマーク 10位：日本
 11位：韓国 12位：ルーマニア 13位：フランス 14位：ハンガリー 15位：アンゴラ
 16位：アルゼンチン 17位：ブラジル 18位：セネガル 19位：スロベニア 20位：DR コンゴ
 21位：キューバ 22位：カザフスタン 23位：中国 24位：オーストラリア



好評発売中

ハンドボールスキルアップシリーズ

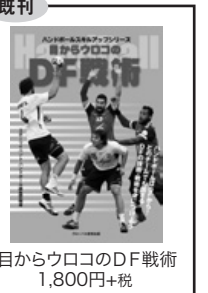
目からウロコのDF戦術

スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著

B5判 188ページ 1,800円+税 発行元 グローバル教育出版

バックプレーヤー、サイドプレーヤー、ポストプレーヤー。ポジションごとに求められるものは大きく変わります。コートプレーヤーの3ポジションについて、本書ではそれぞれの役割、求められる能力などをわかりやすく解説しています。

既刊



目からウロコのDF戦術
1,800円+税

株式会社スポーツイベント TEL:03-3253-5941 ご注文はオンラインショップから→<http://sportsevent.shop-pro.jp/>

戦評

予選ラウンド
2019/11/30(土)

日本 24(14-10、10-10)20 アルゼンチン

2019 女子ハンドボール世界選手権大会の開幕戦は、JPN のスローオフで開幕。先制点は、ARG-9。5分経過し 2 対 2 の同点。JPN は得点チャンスを生かせず、7 分を経過し 3 対 2 の 1 点リードで波に乗れない。10 分過ぎ、4 対 2 と 2 点リードする JPN だが、追加点取れず。15 分過ぎても 7 対 5 の 2 点差のまま。この試合初めての 3 点差は、17 分過ぎ JPN の速攻。18 分 JPN の申請でタイムアウト。直後、セットプレーで得点し 4 点差 (9 対 5) とする。ARG はシュートを放つが、JPN-30GK に阻まれ得点できず。21 分過ぎ、JPN は退場者を出す。GK を CP に代え得点し、10 対 5 の 5 点差とした。23 分過ぎ、ARG の申請でタイムアウト。直後、久々の得点となり 4 点差。さらに 25 分過ぎ JPN は 2 人続けて退場者を出し失点。前半を終了し、14 対 10 で JPN がリード。

後半立ち上がり、1 人少ない ARG は GK を CP に代え 6 人攻撃を試みるが、シュートミスで JPN-30GK がゴールスローから直接シュートが決まり 15 対 10 とリードを広げる。8 分過ぎ JPN は 7 人攻撃を試み得点し 17 対 13 と 4 点差。10 分過ぎ、JPN の速攻で 5 点差。14 分過ぎ、この試合 2 回目の 7 人攻撃を試みるが得点にはつながらず。一方の ARG もシュートまでいくが得点ならず。JPN の速攻が決まり 6 点差 (14 対 20) となったところで ARG はチームタイムアウトを申請。直後、延べ 7 人目となる退場者を出した JPN。追いつきたい ARG だがミスが目立ち得点できず。24 分過ぎ、8 人目の退場者を出した JPN は、タイムアウトを申請。この時点で 22 対 18 の 4 点差で JPN がリード。直後得点を重ねた JPN は 5 点差の 23 対 18 とする。26 分過ぎ、サイドからシュートが決まり、6 点差とする。ARG も GK のいない口ングシュートで追い上げる。22 秒を残し JPN はタイムアウトを申請。このまま得点できず 24 対 20 で試合終了。



予選ラウンド
2019/12/2(月)

日本 28(16-7,12-9)16 コンゴ

CODのスローオフで試合開始 JPN-7 のミドルシュートで先制する。さらに続けて PV シュートから得た 7mT のリバウンドを押し込み 2 点目をあげる。速攻、LW シュートを決めた JPN が開始 8 分で 5 対 0 と完全にゲームを支配する。10 分過ぎの 7mT を確実に決めた JPN が 6 対 2 と 4 点リードとする。12 分過ぎに JPN の速攻が決まり、8 対 2 となったところで COD がタイムアウトを申請する。16 分過ぎ JPN の CP が退場となるが、GK をベンチに下げ得点機をつくり 13 対 6 とリードを保つ。JPN は 6-ODF が機能し、速攻を繰り返し 23 分には 14 対 7 とリードを広げる。追い上げたい COD もダブルポストにして反撃を試みるが、GK のファインセーブや正確なロングスローで 15 対 7 となる。26 分 50 秒に 7mT を決めた JPN は、16 対 7 と突き放す。前半残り 1 分で、COD も 7mT を決めて 16 対 9 となり、JPN がタイムアウトを申請する。JPN は素早いボール回しから PV シュートを決め、17 対 6 と 11 点差で前半を終了する。

リードしている JPN のスローオフで後半開始。お互いシュートチャンスを生かせず、4 分過ぎに JPN が 7mT を決めて 18 対 9 となる。7 分を過ぎて 18 対 10 と点差は縮まらない。8 分 52 秒に JPN はタイムアウトを申請する。前半は好調に得点を伸ばしてきたが、後半になって得点機をつくれぬ。9 分 50 秒に JPN-7 の RW シュートで 19 対 10 としたが、CP も退場となる。15 分を過ぎて JPN が 20 対 12 と 8 点リード。COD の PV シュートが決まるも、JPN はリスタートから 7mT を獲得する。確実に決めて 21 対 13 と JPN のリードは 8 点のまま。20 分を過ぎて、JPN-81 の中央でのカットインシュートで 24 対 15 となり、その後速攻も決まり JPN に勢いが増す。24 分には 5-1DF にした JPN が速攻を決め、26 対 15 となる。JPN の GK が好セーブで COD は得点が伸びず、27 分 47 秒に 28 対 15 と JPN 13 点リードでタイムアウトを申請する。最後まで粘り強く DF した JPN が、28 対 16 と 12 点差で予選 2 勝目をあげた。



予選ラウンド
2019/12/3(火)

日本 26(13-20、13-14)34 スウェーデン

2勝どうしの対決となった3戦目は、JPNのスローオフで前半開始。SWEは6-ODF、JPN-4がキレのいいフェイントでシュートに飛込み7mTを獲得して先制点を奪う。JPN-18の連続ゴールで3対0とリードする。JPN-20のカットインシュートで4対1となったところで、5分58秒SWEが先にチームタイムを申請する。7分JPN-25がセンターからミドルシュートを決め、5対1としてJPNに勢いが出る。9分08秒にJPNのRBが7mTを得るが、SWEのGKがファインセーブする。10分を過ぎて、JPN6対3SWEとリードする。JPNはCPが退場となり、GKを下げてCP6人で攻めるが、SWEが2連続で無人のゴールに決め、6対7と逆転に成功する。15分過ぎて、JPN8対10SWEと2点差での攻防が続く。18分、JPNは3-3DFとするも、SWEは速いパスワークで崩してカットインやPVシュートで加点する。20分でJPN10対13SWEで、徐々にSWEのペースでゲームが進む。SWEは速攻で加点し、22分26秒10対15と5点差となったところで、JPNは2回目のタイムアウトを申請する。23分JPNはGKを下げ、CP7人攻撃を試みる。SWEの高い壁は崩せず、26分には10対18とリードが広がる。終盤JPNに退場者が出て、7mTを確実に決められ、さらに無人ゴールにこの試合4点目が決められ、JPN13対20SWEで折り返す。

7点をリードするSWEのスローオフで後半開始。SWEに退場者が出て、パワープレーの中でさらに退場者を誘うカットインで7mTを獲得した。確実に決めて14対20と差を縮める。SWEも5人でボールを回して7mTを決める。5分を過ぎて、JPN16対21SWEと5点差とし、さらに速攻を決め4点差としたところで、6分01秒SWEがタイムアウトを申請する。3-3DFをさらに高く上げて勝負に出るJPNだが、SWE-8のカットインが7mTとなり追撃を許さない。10分でJPN17対24SWEとなり、一進一退のゲーム展開となる。ラインをあげて積極的にDFするJPNだが、SWEのPVプレーに翻弄される。14分に獲得した7mTをJPN-41が確実に決めて、20対27とする。19分46秒JPN-81のフェイントからのカットインシュートで7mTを得たが、SWEのGKにファインセーブされる。21分30秒にJPN20対30SWEと10点差となる。24分41秒JPNがRBのカットインで8点差に詰め寄ったところで、SWEが先に3回目のタイムアウトを申請する。SWEがCP7人攻撃に出る。JPNは5-1DFにシフトチェンジしたが、ロングシュートを決められ24対34と再び10点差となる。JPNのGKがファインセーブして、今度はJPNが無人のゴールにロングシュートを決める。JPNのLWシュートが決まってJPN26対34SWEでゲーム終了。



予選ラウンド
2019/12/5(木)

日本 23(16-16, 7-17)33 ロシア

JPNのスローオフで試合開始。RUSのDFは、これまで通りの6-0システム。先取点は、JPN-27が強引にカットインシュートを決める。RUSも高さを生かしPVシュートですぐ同点に追いつき、RUS-8のロングシュートで逆転。JPNもRWで追いつくが、RUS-8の速攻での連続得点で引き離される。6分41秒RUS-13のカットインが決まり、3対5となったところでJPNがタイムアウトを申請する。直後にJPNはCP7人での攻撃に出る。RUSの高いDFに対して、JPNは広く速いテンポのパスワークで攻める。10分30秒にはJPN-28のPVシュートが決まり4-6とする。JPNは3-2-1DFから速攻を決めて、2点差で粘る。14分47秒にRUS-77が退場となる7mTを確実に決めて7対8の1点差に迫る。18分にはJPNが退場者を出し、9対11を再び2点差となる。19分50秒には、7mTを決め11対11の同点に追いつく。一進一退のゲーム展開となり、24分過ぎにはJPN-28のPVシュートで14対14の同点となり、RUSがタイムアウトを申請する。26分JPN-27が7mTを決めて、ついに15対14と逆転する。すぐにRUSもミドルシュートを決める。RUS-8の速攻とJPN-41のカットインで加点して、16対16の同点で前半を折り返す。

RUSのスローオフで後半開始。JPNは3-2-1DFで積極的に足を使って守る。CP7人でボールをつなぎ、JPN-18のLWシュートで先制し、JPN-4の速攻で3分には18対16と2点をリードする。RUSも速攻やRWで同点に追いつく。7分を過ぎて20対20でお互い譲らない。RUS-8が7mTと速攻で連続得点し、20対22とリードされたところでJPNがタイムアウトを申請する。13分08秒にJPN-81のカットインシュートが決まり21対23と追い上げる。16分を過ぎて、JPN-27がミドルシュートを決めるが、RUS-13も鋭くカットインを狙う。RUSの好守からの速攻が連続し、18分過ぎには22対27と5点差をつけられる。RUSに速攻を決められ22対29となつて、21分17秒にJPNは3回目のタイムアウト。RUSのファインセーブが連続して、なかなかJPNは得点を挙げられない。24分23秒22対30でRUSがタイムアウトを申請する。残り5分を切つて、JPNはCP7人攻撃でチャンスを伺うが、RUSの高い6-0DFを崩せず、22対31となる。RUS-17のミドルシュートが決まり、23対33の10点差でRUSが予選4戦4勝目とする。



予選ラウンド
2019/12/6(金)

日本 35(17-8、18-10)18 中国

予選最終試合のJPN-CHN戦は、CHNのスローオフで試合開始。JPNは6-ODFでしっかり守り、センターからJPN-25のカットインシュートで先制する。2分30秒にはFBからRW20が決めリードを広げる。RB4のステップシュートも豪快に突き刺さり、FBで20、18と立て続けに得点し、5分29秒(JPN)5対0(CHN)となったところで、CHNがタイムアウト。CHNはLW34や大型PV29でチャンスをつくるが、CHN-7が退場している間にLW18が決め、さらにJPN-30と20がエンブティゴールを決めて、10分24秒(JPN)9対0(CHN)となり、CHNは早くも2回目のタイムアウト。12分37秒にCHN34が7mTを決めて、CHNは初得点をあげ、続けてRW3もゴールして9対2と追い上げる。中盤の15分を過ぎて(JPN)10対3(CHN)と、完全にJPNのペースでゲームは進む。17分過ぎRB4のカットインで7mTを獲得したJPNは、27が確実に決めて12対4と8点差にする。JPNは退場者を出すが、LW13のスカイプレーなどで得点し、20分には14対5とする。21分過ぎからCB81を投入したJPNは、DFも3-2-1DFにシフトチェンジして突き放しにかかる。24分過ぎにはJPN-41が7mTを決め、16対6と点差は10点になる。残り3分を切って、CHN-15のカットインが決まるが、JPN-41もすぐに取り返す。(JPN)17対8(CHN)の9点差で前半を折り返す。

リードしているJPNのスローオフで後半30分が開始。CHN-10が退場し、RW20が先制のゴールで18対10と10点差とする。JPN-3のPVシュート、GK30のファインセーブ、RW20の技ありのシュートでJPN20対8CHNと勢いが増す。CHN退場の間にカットイン、エンブティゴールで23対10とリードを広げる。RW4のフェイントからカットインに対して、またCHNは退場者を出す。12分過ぎにはRW20が、この試合8点目をあげて(JPN)25対10(CHN)となる。16分過ぎに速攻から得た7mTをJPN-25が確実に決め27対12とする。チャンスを作るもGK30に阻止され、JPNの速攻が立て続けに決まって29対13となる。20分過ぎには、CHN-15の中央からのスカイプレーで得点し30対14になる。JPNはCB81で展開が早くなり、24分過ぎにはRB15の得点で32対16とダブルスコアとなる。残り5分を切って、JPN-3のPVシュートで7mTを獲得し、41が決め34対17で終盤を迎える。お互い1点ずつ加え、(JPN)35対18(CHN)でゲーム終了。



メインラウンド
2019/12/8(日)

日本 26(11-14、15-16)30 モンテネグロ

D組3位のJPNとC組2位のMNEの一戦は、MNEのスローオフで開始。立ち上がり、MNE-4の7mTで先制、MNEはRW4の2得点目で2対0とリードする。共にGKの好守があり、3分30秒にJPN-27が決めて2対1となる。JPNは6-0DFで、MNEの高い攻撃陣を守る。6分過ぎには、JPNに退場者が出て、7mTをMNE-4が確実に決めて3対1と2点ビハインド。JPNのGKがファインセーブするが、MNEから得点を奪うことができない。8分過ぎにはJPN-81をCBに投入するが、(MNE)5対1(JPN)とリードが広がる。JPN-27が2得点目のミドルシュートを決めても、リスタートで返される。更に速攻を決められ、10分22秒7対2と5点差になったところでJPNがタイムアウト。CPを7人にして、JPNのRB4のカットインで7対3とする。12分JPNは3-2-1DFにシステムチェンジして、RW7の速攻で8対4と迫る。15分を過ぎても、MNEの高い壁のようなDFが崩せず、シュートチャンスをつくれぬ。16分45秒にJPN-13が決めるが、MNEもリスタートで取り返す10対5と点差が縮まらない。MNE-77が退場している間に、JPN-81がカットインで飛込み10対7と3点差になる。残り10分を切り、JPNのLB41がミドルシュートを決め、12対9とする。25分には、CP7人で攻めるJPNのパスカットしたMNEがエンブティゴールを投げ込み、13対9となる。MNE-80が退場となる7mTをGKがファインセーブし、26分10秒にMNEがタイムアウトを申請。28分30秒にJPN-15のカットインが決まり、13対10と追いつける。終了間際にJPN-81の見事なシュートが決まって(MNE)14対11(JPN)で折り返す。

3点を追いかけるJPNのスローオフで、後半30分の開始。JPN-5が退場中で、GKを下げCP6人で攻め、PV28のゴールが決まり14対12とする。MNE-34も退場し、3分過ぎて15対13と追いつける。3分46秒には、JPN-27が7mTを確実に決め16対14とし、GK30のファインセーブもありJPNに勢いが出る。5分を過ぎ、RW7のゴールで16対15と1点差になる。JPN-27のロングシュートが突き刺さり、16対16の同点になる。MNEも早いテンポでボールをつなぎ2連取してつきはなす。JPNもLW18が続けて決め、19対18と必死に食らいつく。11分23秒にPVで得た7mTを、MNE-4が8得点目となるゴールで20対18とする。JPNもLWが決めて追いつくが、JPN-28が退場しMNEが2連取して22対19と3点差になる、中盤15分には、7mTを獲得するが、MNEのGKがスーパーセーブする。16分に再びJPN-4のカットインから7mTを獲得し、今度はRW7がカットインして22対23に追いつく。JPNはCP7人で攻めるが、エンブティゴールを決められ、24分16秒25対23でJPNがタイムアウト。JPNはCB81を投入し、LBのカットインで1点差にするが、MNEも7mTを獲得する。これはJPN-30がスーパーセーブ。MNEは速攻やPVで引き離し、26分52秒(MNE)27対24(JPN)でJPNは3回目のタイムアウト。JPNは3-3DFにして、積極的に動くが、MNE-15がRWシュートを決める。JPNはPV3が体勢を崩しながらもゴールして、28対25とねばる。さらに3-3DFを高めにしたJPNだが、MNEは慌てずに得点し、(MNE)30対26(JPN)で試合終了。ベストオブマッチは、MNE-4 RADICEVIC Jovankaが獲得した。



メインラウンド
2019/12/10(火)

日本 31(13-17、18-16)33 スペイン

D組3位のJPNとC組1位のESPのMAIN ROUND-Group2の試合は、ESPのスローオフで開始。ESPはPV44が先制のゴールを決める。ESPは6-0DFから積極的に前に出て、JPNの攻撃にチャンスを作させない。ESPの大型PVのマークに苦しむJPNだが、7分09秒に7mTを決め5対4と1点リードする。10分を過ぎて6対5で白熱したゲーム展開になる。11分45秒にJPN-4のカットインが決まっても、ESPもリスタートで取り返す。中盤には、ESPのRB99がカットインを決めると、JPN-25がリスタートで取り返し9対9のまま。JPNはCB81を投入して、パス回しが早くなり、19分07秒JPN-25が4得点目の7mTを決めて、10対10と一進一退。ESPは5-1DFにしてチェックを早くするも、JPNはLW13が角度のないところから見事に決める。23分過ぎに、JPN-15のカットインで13対13と全く譲らない。24分31秒ESPが先にタイムアウト。JPNは高い3-3DFで勝負に出るが、PVマークのJPN-28が退場となる。28分00秒ESPの速攻が決まり13対16となったところで、JPNがタイムアウト。ESP-25が7mTを決め、JPN13対17ESPで折り返す。

4点を追うJPNのスローオフで後半30分の開始。JPN-28のPVシュートで先制し、14対17と追い上げる。3分過ぎにJPN-41が7mT、続けてJPN-81がカットインを決め17対19の2点差になる。8分25秒には、速攻から退場と7mTを獲得したJPNは、JPN-27が確実に決めて19対21と2点差に縮める。JPN-25、3と連続ゴールし21対21の同点となった11分10秒に、ESPがタイムアウト。ESPのGKがファインセーブして、今度はESPが連続ゴール。14分14秒23対23となり、中盤は同点でゲームが進む。17分過ぎ、JPN-4がスカイプレーを決め、ついに25対24と逆転する。25対25で得たJPNの7mTを、ESPのGKがファインセーブ。21分過ぎに、ESPに7mTを決められ、25対27と2点ビハインド。常にESPがリードを保ち、24分24秒ESP-86が7mTを決め27対29となる。ESPは効果的にPVで7mTを得て得点を重ねる。JPNはCP7人で攻め、得点するも、ESPはリスタートからエンブティゴールに突き刺し取り返す。27分47秒28対32でJPNがタイムアウト。JPNはDFをプレス気味に積極的に当たり、LW18が決め30対32と粘る。JPN31対33ESPで試合終了。プレーヤーオブザマッチは、JPN-25 OHYAMA Manaが受賞した。



メインラウンド
2019/12/11(水)

日本 37(18-8、19-12)20 ルーマニア

C組3位 ROU と D組3位 JPN の MAIN ROUND-Group2 の試合は、JPN のスローオフで開始。ROU の DF は、6-0 システム。先取点は、JPN の RB からの 1 対 1 でシュートが決まる。JPN の DF は、6-0 システム。RB からステップシュートが決まり 2 対 0 とする。さらに 7mT を決める幸先の良い立ち上がり。JPN-LB から矢のごとくゴールに突き刺さり 5 対 2 と 3 点リード。JPN-DF は長身のバックプレーに対し高めからプレッシャーをかける。9 分過ぎ、ROU-大型 PV のワンハンドキャッチで高い打点からのシュートが決まり 4 対 8。JPN は、GK を CP に代えて 7 人攻撃で RW からキレのあるシュートを決める。13 分過ぎ、5 対 10 の 5 点差となったところで ROU がタイムアウトを申請。再度 7 人攻撃で、スピードのあるパス回しからカットインシュートを決める。JPN は、GK の好守と得意のセットプレーで 7mT を獲得し確実に決め 12 対 6 と引き離す。20 分過ぎ、JPN はタイムアウトを申請。ROU は退場処分、JPN に 7mT が与えられ加点し 7 点差。ROU は、GK を CP に代えて 6 人で攻撃するが、JPN の堅い DF に攻め仰ぎ速攻を許し失点。26 分過ぎ、ROU は、JPN のフットワークを生かした DF と再三にわたる GK のファインセーブに会い、得点が伸びずタイムアウトを申請。JPN は、ポジションチェンジからの流れるような球回しで追加点をあげ 18 対 8 と大幅にリードし前半を折り返す。

前半のデータ分析結果、JPN のシュート確率は 82%。一方の ROU は 38%であった。10 点を追いかける ROU のスローオフで後半 30 分開始。後半最初の得点は、ROU-RW からの鋭いシュートが決まる。序盤、激しい攻防を繰り広げ、8 分過ぎには、JPN のスカイプレーが決まり、会場中が盛り上がった。前半同様に高めのアグレッシブな DF を継続し、ROU の攻撃を阻止する JPN。ROU の大型 PV の豪快なシュートも連続し好セーブを見せる GK。17 分過ぎ、JPN は 3-2-1DF に変え積極的なディフェンスを仕掛ける。ROU の LB からの打点が高く強烈なロングシュートがゴールに突き刺さり 17 対 30。なかなか攻略できない ROU は、7 人攻撃をかけるがエンペティゴールを決められ 18 対 32 と大幅に点差を広げられる苦しい展開。JPN-81 の華麗な 1 対 1 で 7mT を獲得し、JPN-27 が確実に決め、この試合 8 得点目で 33 対 18。JPN はここまで退場者なしの堅い DF。終盤、JPN-1 が今大会初出場でゴールを守る。最初の PV からのシュートを好セーブ。さらに LB からのロングシュートも阻止し、速攻で JPN-13 が加点。残り 3 分、ROU は最後のタイムアウトを申請。終了間際、JPN-41 のミドルが決まり 37 対 20 で勝利。

プレーヤーオブザマッチは、勝利を導く好セーブを見せた JPN-30 KAMETANI Sakura に贈られた。



女子世界選手権を振り返って

女子日本代表チーム監督 **Ulrik Kirkely**

自国開催となった女子世界選手権・熊本大会に際しては、関係者の皆様、ファンの皆様に変にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

お陰様で、世界選手権へ向けては本当に良い準備をすることができました。今年は JHL 各チームからのご協力もあり、日本リーグ開催を 1 月まで見送るという重要かつ適切な決定がされ、感謝しております。

その結果、欧州遠征などでヨーロッパのトップレベルの選手たちと多くの対戦経験を積むことができました。夏には、世界選手権を想定した日程での欧州遠征で、試合と休養・準備を繰り返すリハーサルを行うことができ、9 月、10 月、11 月にも多くのヨーロッパの選手との合同練習、試合を重ね、パフォーマンスを磨き続けることができました。

その効果は非常に高く、最高の準備となりました。同時に、代表活動日が多く設定できたことにより、フィジカル面での準備も最善のレベルで調整し、世界選手権を迎えることができました。

■ 2019 年世界選手権・予選グループ D

アルゼンチン戦：24-20

開幕戦となるアルゼンチン戦はとても重要なものになると認識していました。

この試合では、この 3 年間のこのチームのメンタル面の成長を見ることができ、感動しました。選手たちはもちろん緊張していましたが、良い、正しい緊張感を持っていたと思います。1 試合を通して完全にゲームをコントロールして 24-20 で勝つことができました。メンタル面で難しい試合に対し、素晴らしいスタートを切ることができました。

DR コンゴ戦：28-16

2 試合目の DR コンゴ戦に対してもよく準備して臨めました。相手チームのキープレイヤーについても対策した上で、非常に集中した試合運びで確実に勝利することができました。

スウェーデン戦：26-34

3 試合目、スウェーデン戦は難しいものになると分かっていました。経験豊かで体格が良く、賢い選手が揃っていて、特にポストは世界トップレベルを 2 人擁するチームです。集中してプレーをすることができていたのですが、1 対 1 の勝負で負けることが重なり、その結果 2 分間退場が多くなりすぎ、厳しい試合となってしまいました。

ロシア戦：23-33

4 試合目はロシアが待ち受けていました。前半は、日本チーム今大会初の自己最高レベルのプレーができ、素晴らしい内容でした。後半は、ロシアが今大会どの試合でもそうだったように、ロシアからの圧力が高まり、フィジカル面で差を見せつけられました。完敗となりましたが、次の重要な中国戦に向けて良い感触を持つことはできました。

中国戦：35-18

グループでの最後の試合は中国戦です。もちろん誰が見ても、今回の中国チームは近年の大会と同レベルのものではありませんでした。しかし、この試合を勝つことでメインラウンドへ向けて士気を

高め、自信をもって進むことができると位置付けて臨みました。

気合十分に一気にたたみかけ、開始 10 分で 9-0 とリードすることができました。日本チームは非常に集中して頑張り続け、完全に試合をコントロールすることができました。

■メインラウンド・グループ II

モンテネグロ戦：26-30

前回ドイツ大会では、モンテネグロとの激戦がありました。今回も同様になると認識して臨みました。最初 15 分間はエラーが多すぎる内容でした。しかしそこから、このチームが持つ、強いプレーハートを見せることができた試合でした。

逆襲し、残り 5 分で同点としました。しかし最後の 5 分間、両チームの経験値の差が出ました。モンテネグロの選手たちは、ヨーロッパでの練習や試合を通し、日常からあのような舞台に慣れています。将来的には、日本の選手に一番必要なものは、このような経験だと考えます。

スペイン戦：31-33

今大会絶好調のスペインチームとの厳しい試合でした。日本もいいプレーをし、勝てる可能性もありましたが、最終的にはスペインの経験豊かな選手たちが、日本よりも賢かったと思います。これで準決勝進出がなくなることが決まり、悔しかったです。しかし同時に、この試合では今大会ここまでで最高のプレーができた手ごたえはありました。

ルーマニア戦：37-20

この試合でのパフォーマンスをチーム一同誇りに思います。

ヨーロッパの強豪チーム相手に大勝することで、最高の形で、熊本の素晴らしいサポーターの皆様へ最後にお礼の気持ちを伝えてお別れすることができました。

今大会へ向けては、フィジカル、メンタル、ハンドボールの面で、万全の準備をして臨むことができました。また大会中は、日本チームへ連日の心強い応援、また手厚い運営サポートをいただき、選手たちはどの試合も最高の舞台で全力を出し切ることができました。

結果として、開幕戦のアルゼンチン戦をしっかりとコントロールすること、その後メインラウンドへ進出すること、この 2 つの目標をクリアすることができました。

今大会は日本チームにとって大きな成功だったと思います。

…そして皆さん一人一人が、チームの成功の一員です！

本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

今大会での日本チームの戦いと成長を振り返り、幸せで誇りに思います。

しかしそれと同時に、2020 年の東京オリンピックへ向け、これまで以上にハングリーに努力を続けていきます。

これからもさらに上を目指すおりひめ JAPAN へ、変わらぬご支援ご声援をよろしく願いいたします！



女子世界選手権を振り返って

女子日本代表チーム キャプテン 永田 しおり

今大会の開催にあたり、スポンサーの皆様、運営にご尽力いただきました関係者の皆様、組織委員会やボランティアの皆様、応援して頂きました皆様へ深くお礼申し上げます。

6年前に今大会の招致活動をされていたときから、私は熊本（オムロン）にいて知っていました。当時はまだまだ先と感じており、自分がこのように関わることになることも知りませんでした。その間には熊本地震が発生し、大会が開催



できるのか心配になったこともありました。しかし地震からの復興と並行して、多くの方々が関わられて大会の準備が着々と進められ、最高の舞台を作っていただきました。大会が始まるとあっという間で、本当に幸せな2週間でした。

おりひめ JAPAN は予選グループで5試合、メインラウンドで3試合の合計8試合を戦い、4勝4敗という結果でした。そのうち、キーとなるヨーロッパ勢との試合では、接戦をするものの勝ち切れない試合が目立ち、5戦1勝4敗でした。大事な場面でシュートを決め切ることや、体格差のあるPVの守り方など、課題が残ります。しかし攻防共に、チームでテーマにしている「Brave Heart」を見せ続けるプレーができたと思いますし、この1年間で意識してきた「安定性」の成長も見られたと思います。最後のルーマニア戦では、全員の力を出し切って勝つことができ、応援して下さった皆様と一緒に万歳をして終わることができて、本当に良かったと思っています。

大会中、パークドームは毎試合、観客の皆さんの大声援で最高の雰囲気でした。本当に、皆さんの声援がチームのパワーになりました。また、宿舍や輸送、練習会場、試合会場といった舞台裏でも、本当に多くの方々の心のこもった手厚いサポートを頂き、私たちは試合に集中することができました。おかげさまで日本チームはメインラウンドへ進出し、10位という最終結果を手にすることができました。

私はこれまで5回の世界選手権に出場しましたが、開催国の観客が他国のチームを応援する大会は見たことがありませんでした。しかし、熊本では学校応援で子供たちが色々な国を一生懸命応援してくれていました。これは、各国からの選手達にとって本当に嬉しいことだったと思います。また、世界選手権で初めてハンドボールを見た子供たちが、ハンドボールをしてみたいな、という気持ちを持ってくれたら嬉しいと思います。

1月には日本リーグが開幕します。日本リーグでも、日本代表選手としての自覚と責任を持ち、海外との対戦を意識したプレーをしていくつもりです。2020年東京オリンピックも目前に迫ってきています。この世界選手権での手ごたえも悔しさも糧にして、課題を修正し、さらにチーム一丸となってチャレンジを続け、東京オリンピックではメダル獲得を達成したいと思います。

改めまして、今大会を支えて下さった関係者の皆様、ファンの皆様に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2019 女子世界選手権 All-Star Team



MVP: Estavana Polman, Netherlands

第 24 回の IHF 女子世界選手権は最後の試合を終え、オールスターが発表されました。6 カ国から 7 名が選出、MVP と得点トップは何れも優勝のオランダから選ばれました。

MVP: Estavana Polman, Netherlands

Left wing: Camilla Herrem, Norway

Left back: Alexandrina Cabral Barbosa, Spain

Centre back: Estavana Polman, Netherlands

Right back: Anna Vyakhireva, Russia

Right wing: Jovanka Radicevic, Montenegro

Line player: Linn Blohm, Sweden

Goalkeeper: Tess Wester, Netherlands

Top scorer: Lois Abbingh, Netherlands – 71 goals

あなたの元気を未来につなぐ
Wakunaga

**元気、やる気、
笑顔、湧く。**

キョーレオピン
KYOLEOPIN
LIQUID

《販売名》
キョーレオピンw

**滋養強壯
虚弱体質**

第3類医薬品

レオピン
LEOPIN
FIBRE

《販売名》
レオピンファイブw

湧永製薬株式会社
http://www.wakunaga.co.jp/

お取扱店のお問い合わせ **0120-39-0971**
(通話料無料) 受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00 (土日祝日を除く)



FIND YOUR WINNING COLOR

ジブンの勝ち色を見つけよう



NEW

アシックス イージーオーダーシステム

約**330億**通り

こだわりの
一足を作ろう!

HANDBALL SHOES
EASY ORDER SYSTEM





第3回全日本マスターズハンドボールシニア大会

開催期間：2019年12月6日～12月8日

開催地：熊本県・山鹿市

会場：山鹿市鹿本体育館

令和元年度第3回全日本マスターズハンドボールシニア大会を終えて マスターズ専門委員会 小山 哲央

2019年第24回IHF女子ハンドボール世界選手権が11月30日(土)から12月15日(日)の期間に熊本県の各地で開催される、その期間に合わせて第3回全日本マスターズハンドボールシニア大会を12月6日(金)から8日(日)の3日間開催することができました。

12月6日(金)と8日(日)の2日間はおりひめJAPANの応援とトップレベルのゲームを観戦し、12月7日(土)はシニア大会を山鹿市鹿本体育館で開催しました。

1. 試合観戦について

1) 12月6日(金)

各組予選リーグの最終日にあたり、シニア大会参加者全員でパークドーム熊本の日本対中国の試合を観戦し、おりひめJAPANを応援しました。その後は参加者の希望でアクアドームくまもと(オランダV S ノルウェー)、県立総合体育館(フランスV S デンマーク)、山鹿市総合体育館(ドイツV S 韓国)にそれぞれ分かれて世界のトップの試合を観戦しました。

2) 12月8日(日)

予選リーグD組3位でメインラウンドに勝ち上がったおりひめJAPANとC組2位のモンテネグロ戦をパークドーム熊本で応援をしました。残念ながら接戦を制することができませんでしたが、予選リーグより数段成長した戦いを見せてくれました。

2. シニア大会について

12月7日(土)は女子世界選手権の休息日に当たり、それにあわせてシニア大会を開催しました。地元の高校生が会場の山鹿市鹿本体育館にミニコートを2面作っていただきました(感謝)。横浜平沼マスターズを2チームに分け、8チームのトーナメント戦を行いました。1回戦の勝者は勝ち上がり、敗者は敗者同士で各チームそれぞれ3試合ハンドボールを楽しみました。

午後は例年通り、チームを解体して長幼の順番に分かれ、長子組(長男・長女)が3チーム、次子組(次男・次女)が2チーム、三子組(三男以上・三女以上)が1チームの合計6チームを作り、それぞれ2試合を楽しみました。

3. 懇親会

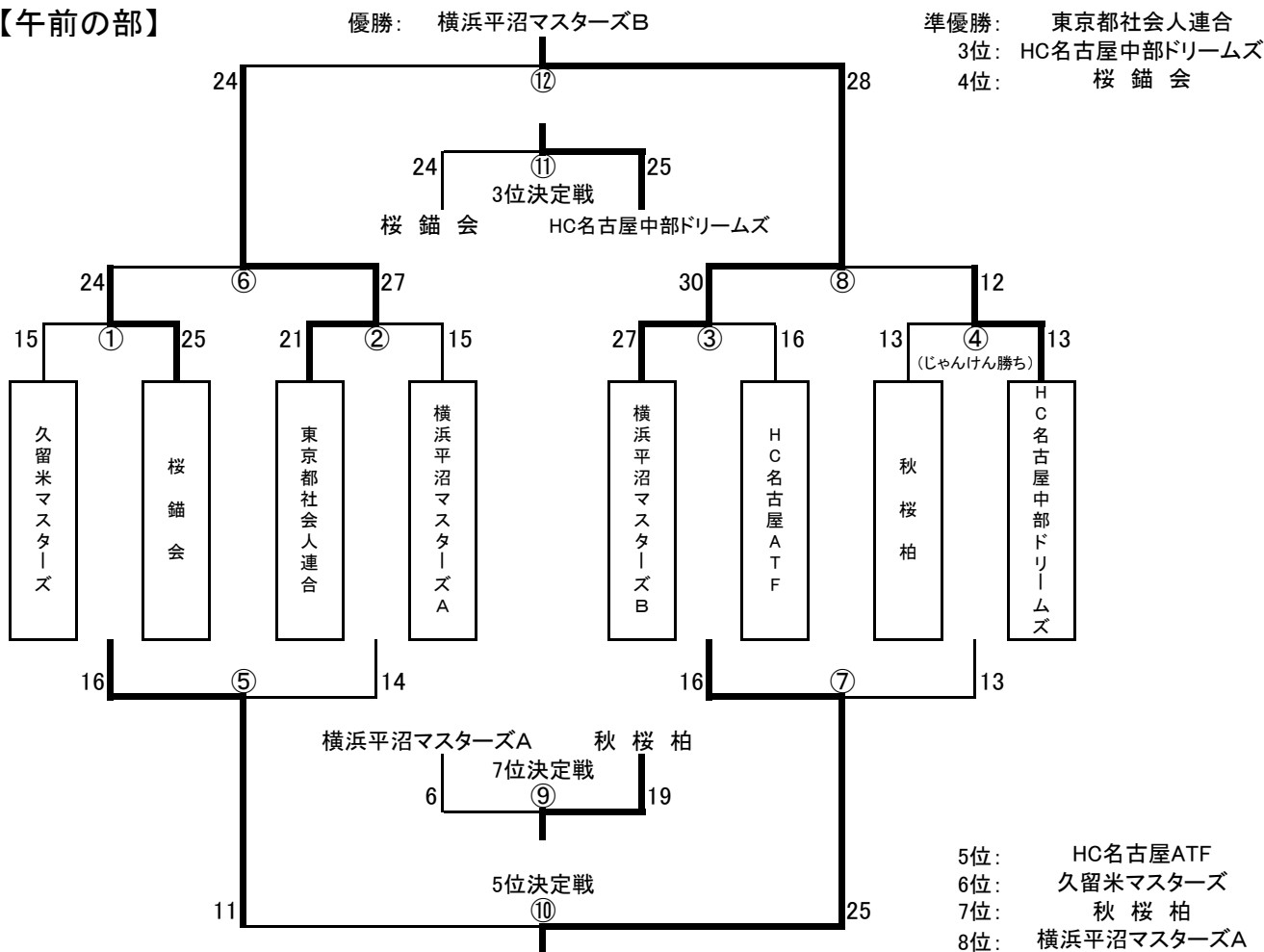
山鹿市内の横手会館2階の大広間に約70名が参加しました。熊本名物の馬刺しは部位別に分けられた大皿が各テーブルに振舞われ又、辛子蓮根など豪華な料理を堪能しました。会の途中に日本協会専務理事田口隆さんと熊本県協会理事長奥園栄純さんが飛び入りで参加して下さい、場を盛り上げて下さいました。

最後になりましたが、女子世界選手権の準備多忙極まりない時期に第3回シニア大会を引き受けて下さいました、熊本県協会理事長奥園栄純さんには多大なご迷惑をおかけしたと思います。参加者一同はこれまで経験したことのない素晴らしい3日間を過ごすことができました。

熊本県のハンドボールに対する土壌の深さを痛感いたしました。本当に有難うございました。

試合結果

【午前の部】



【午後の部】

| チーム名 | チーム編成詳細 |
|------|-------------------------------------|
| あ | 長子: 横浜平沼マスターズ、桜錨会 |
| い | 長子: 東京都社会人連合、HC名古屋中部ドリームズ、秋桜柏 |
| う | 長子: HC名古屋ATF、久留米マスターズ |
| え | 次子: 横浜平沼マスターズ、東京都社会人連合、HC名古屋中部ドリームズ |
| お | 次子: 桜錨会、HC名古屋ATF、秋桜柏 |
| か | 三子: 全チーム |

組合せ

| チーム名 | あ | い | う | え | お | か | 勝敗数 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| あ | | | | 9-12 | 9-7 | | 1勝1敗 |
| い | | | | | 8-10 | 4-5 | 0勝2敗 |
| う | | | | 8-10 | | 2-10 | 0勝2敗 |
| え | 12-9 | | 10-8 | | | | 2勝0敗 |
| お | 7-9 | 10-8 | | | | | 1勝1敗 |
| か | | 5-4 | 10-2 | | | | 2勝0敗 |



 OSAKI



mind

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。



限られた資源だから、有意義に使っていききたい。

命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守っていききたい。

計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、

ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、

つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171 (代表)

2020東京オリンピック出場12カ国(女子) (2019年12月16日現在)

6カ国が決定、残りの6カ国は3月の世界最終予選で決定

| | 日程 | 開催国 | 枠数 | 出場権獲得 |
|---|----------|-------|----|-------|
| 開催国 | 2013年9月 | — | 1 | 日本 |
| 2019世界選手権 | 2019年11月 | 日本・熊本 | 1 | オランダ |
| 欧州選手権 | 2018年11月 | フランス | 1 | フランス |
| アジア予選 | 2019年9月 | 中国 | 1 | 韓国 |
| アフリカ選手権 | 2019年9月 | セネガル | 1 | アンゴラ |
| パンアメリカン大会 | 2019年7月 | ペルー | 1 | ブラジル |
| 世界最終予選 (各T: 上位2カ国が出場権を得る) T1: スペイン・スウェーデン・セネガル・アルゼンチン T2: ロシア・セルビア・中国・ハンガリー T3: ノルウェー・モンテネグロ・ルーマニア・北朝鮮 | 2020年3月 | 未定 | 2 | |
| | | 未定 | 2 | |
| | | 未定 | 2 | |
| 計 | | | 12 | |

たくさんの応援ありがとうございました!

2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

ご観戦・ご協力いただいたすべての皆さまへ。

本大会を支えていただいた多くのボランティア、
スポンサー企業、サポートカンパニー、協力医療機関、その他すべての皆さま、
心のごもったサポート、熱いご声援に、心から感謝申し上げます。

世界中のハンドボールファンと熊本が、国を越えて繋がり、
すべての人々の心が一つとなる、素晴らしい大会となりました。

Hand in Hand 1つのボールが世界を結ぶ

All rights reserved © IHF
©JHA/Yukihiro Taguchi/Sports Event

国内外からの観戦者数 **31万人超!!**



2020年のIHFビーチハンドボール世界選手権がイタリア・アドリア海都市の中心部ペスカーラで6月30日から7月5日まで開催される。



IHFビーチハンドボール世界選手権は22か国を代表する32チーム（男子16、女子16）合計400人のアスリートが3つのコートで144試合行われる。

アジアからは、アジアビーチ大会上位2カ国、男子はカタール、オマーン、女子は中国、ベトナムの4カ国が参加。

女子

(16カ国)

イタリア
ハンガリー
アルゼンチン
メキシコ
オーストラリア
オランダ
ブラジル
スペイン
中国
チュニジア
クロアチア
米国
デンマーク
ベトナム
ギリシャ
未定

男子

(16カ国)

イタリア
ノルウェー
アルゼンチン
オマーン
オーストラリア
カタール
ブラジル
ロシア
クロアチア
チュニジア
デンマーク
ウルグアイ
ハンガリー
米国
メキシコ
未定

過去の成績は以下の通り

女子世界選手権

| 回数 | 開催年 | 開催地 | 参加国 | 優勝 | 2位 | 3位 | 日本の成績 |
|----|------|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 2004 | エジプト・エルゴナ | 8 | ロシア | トルコ | イタリア | 7位 |
| 2 | 2006 | ブラジル・リオデジャネイロ | 10 | ブラジル | ドイツ | ロシア | × |
| 3 | 2008 | スペイン・カズー | 12 | クロアチア | スペイン | ブラジル | × |
| 4 | 2010 | トルコ・アタヤ | 12 | ノルウェー | デンマーク | ブラジル | 10位 |
| 5 | 2012 | オマーン・マスカット | 12 | ブラジル | デンマーク | ノルウェー | × |
| 6 | 2014 | ブラジル・レシェフ | 12 | ブラジル | ハンガリー | ノルウェー | × |
| 7 | 2016 | ハンガリー・ブタペスト | 12 | スペイン | ブラジル | ノルウェー | × |
| 8 | 2018 | ロシア・カザン | 12 | ギリシャ | ノルウェー | ブラジル | × |
| 9 | 2020 | イタリア・ペスカーラ | 16 | | | | × |

男子世界選手権

| 回数 | 開催年 | 開催地 | 参加国 | 優勝 | 2位 | 3位 | 日本の成績 |
|----|------|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 2004 | エジプト・エルゴナ | 8 | エジプト | トルコ | ロシア | × |
| 2 | 2006 | ブラジル・リオデジャネイロ | 10 | ブラジル | トルコ | スペイン | × |
| 3 | 2008 | スペイン・カズー | 12 | クロアチア | ブラジル | セルビア | × |
| 4 | 2010 | トルコ・アタヤ | 12 | ブラジル | ハンガリー | トルコ | × |
| 5 | 2012 | オマーン・マスカット | 12 | ブラジル | ウクライナ | クロアチア | × |
| 6 | 2014 | ブラジル・レシェフ | 12 | ブラジル | クロアチア | カタール | × |
| 7 | 2016 | ハンガリー・ブタペスト | 12 | クロアチア | ブラジル | カタール | × |
| 8 | 2018 | ロシア・カザン | 16 | ブラジル | クロアチア | ハンガリー | × |
| 9 | 2020 | イタリア・ペスカーラ | 16 | | | | × |